

第 2 回

「お金を使わず知恵を使って」
日本をよくする行政の取り組み一挙大公開！

全体最適で行政の問題解決 推進シンポジウム2018

参加費
無料

私たちの日常を取り巻く問題には、貧困や待機児童など様々な問題があり、それらの多くは、民間では扱えない長年未解決の問題です。

だからこそ行政の役割があるわけですが、行政の仕事はますます複雑・多様化し、様々なステークホルダー・しがらみが絡み、問題を解決することは、さらに困難となりつつあります。財政も一層厳しくなり、行政にかかわる現場の危機感はますます大きくなってきているのは言うまでもありません。

これらの問題の解決には、行政と民間がともに知恵を出して協力することが必要になっています。

こうした中、全体最適の問題解決力を学び、行政問題を解決し、目覚ましい成果を出す取り組みが始まっています。

行政、民間の参加者が、全体最適のマネジメント理論TOC(制約理論)を活用し、「お金を使わず知恵を使って」を合言葉に、日本をよくするために知恵を出し合い、問題解決に取り組んでいます。

今回のコンファレンスでは、TOCを活用した取り組みと、実践されている成果について、報告するとともに、今後の展開について、学びをどう活かすかについて議論していきます。

危機感が大きければ大きいほど現場は変わりたいと思っているもの。マスメディアで紹介される役人・官僚の姿とは全く異なる真摯な行政の現場の姿が見えてくるはず。行政、民間にかかわらず、日本をよくしたい、地域をよくしたいという思いを持っている方々のご参加をお待ちしております。

日 時

2018年12月2日（日）

10:00 ~ 17:20

定員

先着 400 名様

会場 明治大学 駿河台キャンパス
リバティホール

お申込み

QRコードまたは研究会HPよりお申込みください

URL <http://tocgyousei.org/>

MAIL mail@tocgyousei.org



主催
明治大学公共政策大学院

協力

NPO法人全体最適の行政マネジメント研究会
ゴールドラット・ジャパン

プログラム	
10:00～	ご挨拶 明治大学公共政策大学院教授 田中 秀明 NPO法人全体最適の行政マネジメント研究会理事長 主催者を代表して、田中よりご挨拶させていただきます。
10:10～	全体最適の行政マネジメント研究会の紹介 NPO法人全体最適の行政マネジメント研究会事務局長 伊原 洋輔 埼玉県西部環境管理事務所担当課長 「お金を使わず知恵を使う」全体最適の行政マネジメント研究会の生い立ちと活動について、事務局よりご紹介します。
10:30～	世代間に連鎖する貧困から子どもたちを救え！ —飛躍的成果をもたらすソーシャルワーカーの働き方改革— 米国ユタ州 世代間に連鎖する貧困からいかに子どもを救うか、ユタ州のソーシャルワーカーが取り組んだTOCの実践事例と目覚ましい成果をご紹介します
11:30～	保育園待機児童問題の取り組み—幼稚園と創るこども未来プロジェクト 埼玉県越谷市子ども家庭部子ども育成課主幹 山崎 愛 「保育園落ちた日本死ね！！」の投稿で注目を集めた待機児童問題。厳しい世間からの批判の中、一人の市の職員が既成概念を変え、組織の壁を越えて取り組み、国の政策にも取り上げられた事例を紹介します。
12:10～ 13:00	昼食
13:00～	限られた予算で、国民の平和と安全を守る「１０Ｂプロジェクト」始動！ 防衛装備庁装備政策部装備制度管理官 内藤 正雄 わが国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中で、ＴＯＣの活用により、航空機整備に係る業務を改善し、限られた予算で国民の平和と安全を守る「１０Ｂプロジェクト」が始動するまでを紹介します。
13:40～	考える子どもを育てる環境教育 埼玉県環境部環境政策課主任 加藤 考力 「覚える」ことと「考えること」。どちらが大切でしょうか？これからの予測困難な時代を生きる子どもたちには、物事を論理的に考えて、課題を発見し解決する、「考える力」が必要です。環境教育を通して「考える」ことを学ぶ、新しい体験メニュー作りの挑戦をご紹介します。
14:20～	iPS細胞研究所のボトルネックは何か？ —仮説と検証を繰り返す科学的アプローチの寄付募集活動— 京都大学iPS細胞研究所所長室基金グループ長 渡邊 文隆 iPS細胞研究所のボトルネックの解消にむけて、仮説と検証を繰り返し、既成概念を変えることで、ボトルネックを解消していく同研究所 基金グループの実践事例をご紹介します。2012年にノーベル賞を受賞した山中伸弥教授もビデオメッセージを寄せられています。
15:00～ 15:10	休憩
15:10～	「ありがとう！」と言われる現場へ —住民よし、企業よし、行政よしの三方良しの公共事業改革の歩み 三方良しの公共事業推進研究会 相次ぐ不祥事で公共事業に対する批判が渦巻く逆境の中で始まったのが、住民よし、企業よし、行政よしの「三方良しの公共事業改革」です。その活動の歩みと住民から「ありがとう！」と言われる現場に変わった事例を紹介します。
15:50～	行政における働き方改革—仕事の流れをよくするWIPボード 新潟県、埼玉県、ユタ州 お役所仕事は遅いものという既成概念を覆し、仕事の流れをよくすることで、高い生産性を実現するWIPボードの仕組みと成果についてご紹介します。ユタ州からは、目が不自由ながら米国ナンバーワンの行政サービス賞を獲得したクリスティン・コックス、エグゼクティブディレクターのビデオメッセージが寄せられています
16:30～	財政破綻の真犯人は？ ゴールドラット・ジャパンCEO 岸良 裕司 NPO法人全体最適の行政マネジメント研究会理事 ますます増える財政赤字は日本の将来に暗い影を落としています。その真犯人について、国際公会計学会の先生と議論したシンプルなお考察・解決の方向性を紹介し、変わりたくない前例踏襲の行政の中で、いかに変革をしていくかという実践事例をご紹介します。
17:10～	まとめ 充実した一日を振り返り、学びを考えます
17:30～	ネットワーキングパーティ 参加者、発表者みんなで、懇親を深め日本をよくするためのネットワークを構築していきたいと思います



＜開催地ご案内＞

明治大学 駿河台キャンパス リバティホール

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

- ・ JR中央線・総武線／東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅（下車徒歩約3分）
- ・ 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅（下車徒歩約5分）
- ・ 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅（下車徒歩約5分）



NPO法人行政全体最適のマネジメント研究会